

【LIVE配信】【アーカイブ配信】

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/240713>

# 暗黙知の形式知化の課題と実態

1名分料金で  
2人目無料

★暗黙知の形式知化について、試行錯誤のプロセスを含め事例とともに解説。

★標準化が難しい作業や標準化しても伝わらないような作業の展開をどう実現するかについても解説！

- ◆日時：2024年7月11日（木）12:30～16:30
- ◆アーカイブ配信：同12日（金）～26日（金）（何度でも受講可能）
- ◆受講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

会員（案内）登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円（税込）から  
・1名で申込の場合、**46,200円（税込）**へ割引になります。  
・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計49,500円（2人目無料）**です。

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

- 講師：(株)ブリヂストン 北九州工場 企画管理課長（～2024年3月） 福岡工業大学 情報マネジメント学科 准教授（2024年4月～）  
木村 富也氏

### 【習得できる知識】

暗黙知を形式知化するにあたっての下記の項目を習得可能。

- ・考慮すべきこと
- ・分析方法
- ・形式知化すべきことと形式知化すべきでないこと
- ・形式知化した後にすべきこと

### 【講演の趣旨】

日系製造業は、過去からオペレーターの阿吽の呼吸などで現場作業を行ってきた。しかしながら、日系企業がグローバル化し始めたことで、その阿吽の呼吸が海外では通用しなくなった。現場作業の標準化を行うことで現場作業のグローバル展開を行ってきた。しかしながら、各地の工場のレベルが上がり、日本国内と同様の製品を作ろうとすると、標準化するのが難しい作業があった。特に標準化しても伝わらないような作業があった。そこで、日系企業はオペレーターの勘やコツを標準化するために試行錯誤してきたが、それこそが、暗黙知の形式知化であった。以前は、日系のどの企業も自社内で標準化をしてきたが、レベルの高い、いわゆる匠の技の暗黙知を形式知化するために、他社の技術も織り込むことで実現した。

自身が経験してきた標準化、すなわち暗黙知の形式知化について、例を使って初めから完成までのプロセスを説明する。

### 【プログラム】

#### 1.はじめに

- 1.1. 暗黙知の形式知化とは？
- 1.2. 製造業のグローバル化
- 1.3. 迫られた標準化
- 1.4. 標準化の進め方

#### 2.暗黙知の形式知化

- 2.1. 現場作業の層別
- 2.2. マニュアル作業の自動化
- 2.3. 形式知化へ必要な技術
- 2.4. 工場での形式知化

#### 3.今後の課題と展望

- 3.1. 現場改善と形式知化の関係
- 3.2. 製造業の直面する少子化問題

#### 4.まとめ

『暗黙知』セミナー申込書 < LIVE アーカイブ > ※いずれかにチェックしてください FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>